

北上市市民活動情報センター NEWS

毎月第1
木曜日発行

Vol. 175

2025年11月号

地域づくり・市民活動などのご相談は北上市市民活動情報センターへ

発行 北上市市民活動情報センター

(受託者) いわてNPO-NETサポート

北上市大通り1-3-1 おでんせプラザぐろーぶ4階

☎0197-61-5035

✉shimin@npo2000.net

Instagram



facebook



「ケーキの切れない非行少年たち」著者
宮口幸治教授 講演会が開催されます

■テーマ

『明日の子育てと教育のあり方を考え、行動していくために。一ケーキの切れない非行少年たちが教えてくれるものー』

■日時

11月21日(金) 開場18時 開演19時

■会場

さくらホールfeat.ツガワ 中ホール

■チケット

前売り券 2,000円

22歳以下 1,000円

当日券 2,500円



当日の詳細
WEB予約購入
はこちら♪

■備考

当日の受付補助、会場案内や設営をお手伝いしてくださる方を2名程度募集します。

申し込みの締め切りは11月14日(金)です。

■主催

北上地区BBS会

✉kitakami.bbs@gmail.com

BBS会とは…

少年たちが社会の中で再び自分の居場所を見つけ、健全に成長できるよう手助けする青年ボランティア団体です。



交流センターさんの /
講座まとめました

11月



情報センターブログの「11月の講座予定」ページは、印刷もできますのでご活用ください。

北上市内の団体が対象

地域福祉活動応援事業助成金



助成対象活動

- ※北上市内で、地域福祉を推進する先進的な活動
- ※地域の新たな福祉課題へ取り組む活動
- ※地域福祉活動を通じた地域の活性化を図る活動

助成対象団体

北上市内で地域福祉活動を行う住民団体

助成金額

1団体あたり 上限10万円

応募期間

令和7年11月25日(火)～令和8年1月16日(金)

実施

岩手県共同募金会 北上市共同募金委員会

助成金情報を
随時更新しています /



市民活動情報センター
ブログ

黒沢尻北小学校×地域づくり課 出前講座

身近で活躍する企業を知る～わたしが地域でできること

10月10日(金)、黒沢尻北小学校5年生123名を対象に、「身近で活躍する企業の紹介～地域貢献の取り組み」をテーマとした講座が行われました。

この講座は、北上市生涯学習まちづくり出前講座の一環として実施されたものです。

5年生はこれまで、北上市の工業や環境保全への取り組みについて学んでおり、今回の講座はその3回目にあたります。

地域の企業の話を通して、子どもたちは自分たちのまちのことをより身近に感じ、学びを深めていました。



身近で活躍する企業を知ろう



出前講座を担当したのは、北上市役所まちづくり部地域づくり課の蛭坂さんです。

.....

はじめに、黒沢尻北地区の特色や地域づくりの活動事例が紹介されました。

続いて、企業が団体や学校と連携して地域課題に取り組む事例や、SDGsへの取り組みについて紹介されました。

身近な企業の名前が出ると、児童たちは顔を見合わせてうれしそうにしたり、熱心にノートに書き留めたりしていました。

まちづくりはだれがするの？



最後に、講師の蛭坂さんは児童に「まちづくりはだれがするの？」と問いかけ、「まちづくりとは、自分たちが住む地域をよりよいまちにするために、みんなで取り組むことです」と説明しました。

そして、「皆さんには、自分の得意なことや強みを生かして、地域のためにできることを少しずつ始めていってほしいです」と呼びかけていました。



児童からは「いろいろな企業のいいところを知れて良かった」「自分の身近で行われているまちづくりの活動を知ることができた」といった感想が聞かれました。

出前講座を依頼した学年主任の先生は、「今回、北上市の工業という大きなテーマから、身近な企業の取り組みまで幅広く学ぶことができました。子どもたちが、社会のしくみに関心を持ち、理解を深めるきっかけになればと思います」と話していました。

注文のやんべな料理店プロジェクト

注文のやんべな料理店 in 夏油古民家カフェkobiru

「やんべ」
ほどよく
無理なく

9月21日(日)、認知症の方々がホールスタッフを務める「注文のやんべな料理店」が夏油古民家カフェkobiruで開催されました。

このイベントは、認知症になっても暮らしやすいまちづくりの実現に向け、市内の有志による「注文のやんべな料理店プロジェクト」が主催したものです。

認知症の方とつながるひととき

「注文のやんべな料理店」は9月21日の「世界アルツハイマーデー」に合わせ、夏油古民家カフェkobiruの協力を得て、1日限定で開催されました。この取り組みは2019年に初めて開催して以来、6年ぶりの実施となります。



4名の認知症当事者は、プロジェクトメンバーのサポートを受けながら、カレーやタコライスなどの料理や飲み物の配膳、接客に取組みました。

「やんべ」で広がるやさしい笑顔



店内は満席。食事を待つお客様も多く賑わっていましたが、皆さんの表情はやさしい笑顔にあふれていました。

『ゆっくりでも、うまくいなくても大丈夫』——そんなやさしい空気が会場を包み込んでいました。



菊地さんは「認知症の方と接する機会がない方にも、この取り組みを通して認知症について知ってもらえたらと思います。認知症の方が働く姿を、多くの方に見てもらいたいです」と笑顔で語っていました。



注文のやんべな料理店プロジェクト
プロジェクトリーダー 菊地 和恵さん

周囲のサポートがあれば、認知症でもやれることがあります。認知症の方には、人との交流を通じてやりたいことに取り組み、“できた”という喜びを味わうことで、自信をもってほしいです。「注文のやんべな料理店」を定期的に開催できたらうれしいです。

新しい小学校をつくる会

「KINOスクール」 たくさんの体験で自分の「好き」と出会う

「新しい小学校をつくる会」は、フリースクール「KINOスクール」を運営しています。

将来的には、北上市に、きのくに子どもの村小学校のように体験活動を大切にする私立小学校をつくりたい——そんな想いを込めて、実行委員により「KINOスクール」と命名されました。

KINOスクールとは

「KINOスクール」は、小学1年生から中学3年生にあたる年齢の子どもを対象としたフリースクールです。学校に通っていない子や、困難を抱えている子、自分のペースで学びたい子、探究したいことがある子に向けて開かれています。

2025年6月に開校し、現在は3名のスタッフにより運営され、常時5名の子どもたちが活動に参加しています。(2025年9月現在)



古民家又兵衛にて、虫取りをする子どもたち

体験活動から「好き」を見つける



野外でピザ作りを楽しむ子どもたち。自分好みにトッピングして焼き上がりを待っています。

9月22日(月)の古民家又兵衛での活動では、火おこしにチャレンジしたり、縁側で食事をしたりと、子どもたちは思い思いの時間を楽しんでいます。

フリースクールを運営するひとり、藤村千鶴さんは、「いろいろな体験プログラムを通して、自分の『好き』を見つけるきっかけになればと思います。そして、一人ひとりが大切なものに気づき、自分の足で歩み、自立していけるよう、環境を整えていきたいです」と語っていました。

利用規約等はこちら



HP

活動の様子ははこちら



Instagram



新しい小学校をつくる会
代表 昆野世宙(こんのときみち)さん

私たちは子どもたちに学びの選択肢を増やしたいと考えています。実体験から学ぶことが少なくなった子どもたちに、自然豊かな地で、自ら考え学ぶ学校を作りたいと考えています。